

物産展を通して相互理解

姉妹都市の日置市で特産品交流物産展



本町の出品ブース前には暑い中長蛇の列が



売り切れとなる品が続出するほどの人気

9月1・2の両日、本町の姉妹都市である鹿児島県日置市で特産品交流物産展が行われ、本町の特産品を出品しました。

7月の道の駅「摩周温泉」リニューアルオープン1周年記念の交流物産展に、日置市の皆さんが出品してくれたお礼とともに、日置市の皆さんにあらためて姉妹都市に対する理解を深めてほしいと訪問したものです。

(社)摩周湖観光協会や摩周湖農協、弟子屈町振興公社の職員など、10人が日置市を訪問。江口蓬菜館、こけけ特産品販売所という2カ所の観光物産施設で、トウモロコシや摩周メロン、牛乳、アイスクリームなどの本町の特産品を販売しました。

両日とも天候に恵まれたこともあり、たくさんの方が来場。多くの品が早々に売り切れとなるなど、盛況となりました。

夏空の下 威勢よく

弟子屈神社例大祭
川湯神社例大祭



弟子屈をテーマにした自作の歌を披露(右上)
多くの方が訪れた出店(上)
威勢のよい弟子屈神社みこし(右)



炎天下練り歩いた川湯神社みこし

28日に行われたみこし行列では、本みこしが威勢の良い掛け声とともに練り歩いたほか、川湯保育園、川湯小学校、川湯中学校による子どもみこしも元気に歩きました。また、川湯ばやしも披露されました。

29日には、川湯神社境内で奉納相撲大会が行われ、訪れた保護者などから盛んに声援が送られていました。

8月27日から29日には、川湯神社例大祭が行われました。

20日に行われたパレードには、本みこしや弟子屈小学校の児童による子どもみこし、鎧獅子舞、パトントワラー弟子屈教室、北響太鼓などが参加し、町内を練り歩きました。途中、数カ所で行われたパトントンや獅子舞、太鼓の披露には、訪れた観客からたくさん拍手が送られていました。

また、神社前にはたくさんのお店が並び、家族連れなどでにぎわいました。



元気いっぱいの川湯保育園子どもみこし

町の話



町の話

長寿を祝い長年の貢献に感謝

町内各地で敬老会



民謡に聴き入る入居者の皆さん(ケア・サポート敬老会)



祝いの品の贈呈(市街地区敬老会)

9月17日の敬老を迎え、長年の社会貢献と長寿を祝う敬老会が、町内各地で開催されました。

9月15日に福祉センターで行われた弟子屈町睦婦人会(江口佑子会長)主催の「第64回弟子屈市街地区敬老会」には、252人が出席。徳永町長のあいさつに続き、八幡豊行町議会議長からお祝いの言葉が贈られました。古希(70歳)、喜寿(77歳)、米寿(88歳)、白寿(99歳)を迎えた方への祝い品贈呈では、代表者に記念品が手渡されたほか、聖月流日本吟剣詩舞道会川湯支部の子どもたちが詩舞を披露し、出席した皆さんが楽しみました。

9月18日には、高齢者向け住宅ケア・サポートまつやま(川湯温泉)で敬老会が行われました。今年、地元川湯の民謡愛好会「孝帆会」の皆さんを迎え、民謡・歌謡ショーで盛り上がりしました。同会の皆さんは、津軽じよんがら節や秋田おばこなどの民謡の代表曲を披露。特に三味線の独奏は素晴らしく、入居者の皆さんもとても喜んでいました。

町の話



町の話

理解と交流を深めて

姉妹都市鹿児島県日置市の中学生が来町



永山在兼顕彰の碑に献花(上)
弟子屈中学校で一緒に授業を受ける(下)

本町の姉妹都市である鹿児島県日置市の中学生姉妹都市交流派遣団15人が、8月26日～29日の日程で本町を訪れました。27日には役場を表彰訪問し、町職員などの出迎えを受けました。

姉妹都市中学生交流事業は、1990年から隔年で行われ、今年で12回目。今回は、東市来、上市来、両中学校の生徒が、それぞれ弟子屈、川湯の両中学校を訪問。歓迎セレモニーでお互いのまちや学校の紹介を行い、その後、体験授業や交流レクリエーションなどを通して一層親睦を深めました。また、摩周湖や屈斜路湖、9

○草原などを訪れたほか、姉妹都市締結のきっかけとなった永山在兼氏顕彰碑や、同氏が整備した阿寒横断道路も見学。さらに、そば打ちやミニトマトの収穫、釧路川での川下りなど、弟子屈ならではのさまざまな体験を行いました。



ネイチャーボートでの釧路川下りに挑戦